

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス ららん

公表日 令和8年3月27日

利用児童数

25

回収数

26

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	84.6%	11.5%	3.8%	0.0%	・仕切りもできるくらい広いスペースなので。	・感染症まん延防止、特定曜日やご利用者様の特性に合わせた対応として、仕切りを出しております。説明不足の点もあり、狭いと感じている方もおられると思います。申し訳ございませんでした。 ・今後も仕切りを活用した環境設定を取り組んでまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	96.2%	3.8%	0.0%	0.0%	・今は対1で見えていただいているので、ありがたい限りです。	・当事業所では、ご利用者様の特性やその日の様子に合わせ、可能な限り密な関わりを重視しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	88.5%	11.5%	0.0%	0.0%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	92.3%	7.7%	0.0%	0.0%	・清潔感がある。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	96.2%	3.8%	0.0%	0.0%	・子供に合った対応、支援をして下さっています。 ・娘の事を理解し、やれる事をどんどん増やして頂きありがとうございます	・感謝のお言葉ありがとうございます。ご利用者様お一人お一人に合った支援を今後も考えてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	92.3%	3.8%	0.0%	3.8%		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	96.2%	3.8%	0.0%	0.0%		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	92.3%	3.8%	0.0%	3.8%		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	96.2%	3.8%	0.0%	0.0%		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	88.5%	11.5%	0.0%	0.0%		・ご利用者様が楽しめる企画を考えてまいります。

	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3.8%	26.9%	26.9%	42.3%		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	96.2%	0.0%	0.0%	3.8%		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	88.5%	11.5%	0.0%	0.0%		・個別支援計画書をお渡しすることにとどまっておき、支援計画の背景に「お子様の成長への願い」や「具体的な支援の意図」をお一人お一人にお伝えできていない実態がございました。 ・今後は、計画書をお渡しする際に、要点をまとめてお伝えできるように努めます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	50.0%	15.4%	0.0%	34.6%		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	96.2%	3.8%	0.0%	0.0%		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	88.5%	7.7%	0.0%	3.8%		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	96.2%	3.8%	0.0%	0.0%	・特性を見極めてるので、見合った支援がされてると思うし、ありがたいです。 ・いつも助かっております。	・暖かい感謝のお言葉をいただき、職員一同大きな励みになっております。今後も一人ひとりの特性に合わせた関わり、支援に努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11.5%	34.6%	7.7%	46.2%	・そういう会があるのを知らない。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	76.9%	11.5%	0.0%	11.5%		・当事業所では、ご利用者様や保護者様からのご意見やご相談に対し、迅速かつ誠実に対応するための体制を整えております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	92.3%	7.7%	0.0%	0.0%	・適切な対応をして下さってます。私にも逐一報告して下さいます。	・職員間の情報共有と保護者様への迅速な報告を徹底しており、その点をご評価いただけたことは大変励みになります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	100%	0.0%	0.0%	0.0%		
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	96.2%	3.8%	0.0%	0.0%			

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	80.8%	11.5%	0.0%	7.7%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	96.2%	0.0%	0.0%	3.8%		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	84.6%	7.7%	0.0%	7.7%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	92.3%	3.8%	0.0%	3.8%		・お迎え時、直接お会いできない場合はお電話でご報告させていただいております。情報伝達漏れがないよう徹底してまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	96.2%	3.8%	0.0%	0.0%		・日頃より当事業所の運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。お子様が毎日笑顔で過ごせることはもちろん、なによりも安心・安全に過ごせる居場所であるために、日々の関わりや見守り、環境整備を徹底してまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	84.6%	15.4%	0.0%	0.0%	・毎回楽しみにしている。	・お子様の小さな変化も見逃さず、一人ひとりに寄り添った丁寧な支援を心がけてまいります。何か気になることがございましたら、いつでもお気軽にご相談ください。
	29	事業所の支援に満足していますか。	96.2%	3.8%	0.0%	0.0%	・感謝しかない	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ららん		公表日			令和8年3月27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間や状況により、スペースの開放やフロア分けをおこなっています。</li> <li>・感染症が発生したときなどは、パーティションで区切れます。</li> <li>・空間を仕切ることができ、状況に合わせた利用が可能となっています。</li> </ul>		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	85.7%	14.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度より職員数は充足しました。</li> <li>・兼務職員やアルバイト職員の配置もあり、適切な配置ができていると思います。</li> </ul>		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動する場所、くつろぐ場所、課題を取り組む場所でメリハリのある活動ができます。</li> <li>・特性に応じて、スケジュールや絵カードの提示を行い対応しています。</li> <li>・フロアを仕切り、用途に合わせて使用しています。</li> <li>・フロア内はもちろん、トイレは手すりが付いていたり、段差がなく、バリアフリーな環境です。</li> </ul>		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的におもちゃの消毒やフロアの清掃をおこなっています。</li> <li>・毎日の掃除、整理整頓に取り組んでいます。</li> <li>・保護者の方に見ていただけるよう、窓ガラスも常に綺麗であるよう努めています。</li> </ul>		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者様の要望や様子により適宜個室を使用しています。</li> <li>・静養、休憩、不調時のクールダウンの場所の提供をしています。</li> </ul>		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正規職員を中心に参画しています。</li> </ul>		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドラインのアンケートより検討・改善をしております。</li> <li>・管理者を含め、職員間で話し合いを行なっています。</li> </ul>		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼礼やミーティングなどで意見を出し合い、適宜業務改善をおこなっています。</li> <li>・アンケートや聞き取りを実施し、その都度改善しています。</li> <li>・普段も気兼ねなく上長、同僚と話ができます。</li> </ul>		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	28.6%	71.4%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部評価はおこなっておりません。</li> <li>・必要性の有無を検討したいです。</li> </ul>	

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に内部研修を実施しています。</li> <li>・外部研修にも参加しています。</li> </ul>	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	71.4%	28.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切に作成、公表されています。</li> <li>・支援プログラムは作成されていますが、どこまでの範囲で公表されているかは不明です。</li> </ul>	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多角的な視点を踏まえて、作成に取り組んでいます。</li> <li>・日頃の様子やモニタリング会議での内容などを分析し作成しています。</li> </ul>	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援計画の作成に携わり、共通理解のもと検討しています。</li> <li>・全職員が、共通理解のもと作成しています。</li> </ul>	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援の共有を行い、実施しています。</li> <li>・資料がファイリングされており、いつでも職員が確認できる状態となっているので、各自確認をし支援を行っています。</li> </ul>	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	85.7%	14.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフォーマルなアセスメントが多いですが、必要に応じて標準化されたツールの使用も実施しています。</li> </ul>	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な項目に絞り、支援内容を設定しています。</li> </ul>	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いの場を設け取り組んでいます。</li> </ul>	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ活動であっても、工夫した内容を提供しています。</li> <li>・多様なプログラムを提案できるようにしています。</li> </ul>	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別活動の支援が多いですが、集団活動の様子も踏まえて支援しています。</li> <li>・適宜組み合わせ支援を行っています。</li> </ul>	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼礼にて毎日確認しています。</li> <li>・長期休暇以外は、毎日打ち合わせを実施しています。</li> </ul>	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ず実施はできませんが、その日のうちに必要な情報共有を行います。翌日の打ち合わせで、詳細な内容や振り返りを行います。</li> <li>・翌日の昼礼で必ず振り返りを行い、情報の共有をしています。</li> </ul>	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ず記録をとり、モニタリングや支援計画作成時に活用しています。</li> <li>・毎日記録をとることを徹底しています。また、検証や改善につなげています。</li> </ul>	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半年に一度、定期的なモニタリングにて適切な見直しを行っています。</li> </ul>	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施しています。</li> </ul>	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の物を見て選択したり、複数枚の写真から活動を決めてもらうなど、個々によって変えています。選択する力をつけるための支援を取り入れています。</li> <li>・自己選択できる場を設け、意思を確認しています。</li> </ul>	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に児童発達支援管理責任者が参加していますが、現場職員も機会があれば参加します。</li> </ul>	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に学校や他事業所と連携し、情報を共有しています。</li> </ul>	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話やメール等でおこなっています。</li> <li>・メールでのやりとりが多いですが、必要に応じて直接連絡して情報共有しています。</li> </ul>	
関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談員を通じて情報共有しています。</li> <li>・全てではありませんが、可能な限り情報共有しています。</li> </ul>	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同法人内であれば、密に情報共有しています。他法人であれば、相談支援専門員を通じて情報提供させていただいています。</li> <li>・法人内に障害福祉サービス事業所があり、情報共有は行っています。</li> </ul>	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	14.3%	85.7%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・機会を持っていません。</li> </ul>
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0.0%	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・機会を設けておりません。</li> </ul>
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	85.7%	14.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統括施設長が参加しています。</li> </ul>	

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お迎えの際や会議の際に共有しています。</li> <li>・その日の状態や、過ごしの内容など、ご家族がお迎えに来られた際にお伝えしています。また、ご家族から家での様子などお聞きし、共有しています。</li> </ul>	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14.3%	85.7%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族支援プログラムは実施していませんが、外部でのイベント等の情報提供は実施しています。</li> </ul>
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧な説明を心がけています。</li> <li>・主に、契約時にお話させていただいています。</li> </ul>	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子様は日頃の関わりの中から、保護者様は定期的なモニタリング会議で確認させていただくことが多いです。</li> <li>・利用前の面談時、会議等で確認しています。</li> </ul>	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確認させていただいています。</li> </ul>	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご相談を真摯に受け止め、お話を十分にお伺いした上で、一緒に解決策を考えるよう努めております。</li> </ul>	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0.0%	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会の実施はありません。</li> </ul>
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体制を整備しています。苦情があった際は適切に対応を行います。</li> </ul>	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・りとるらいふ通信は、毎月さくら連絡網で通知しています。みんなできのホームページにも載せています。</li> <li>・長期休暇時のイベントについては、さくら連絡網でお知らせしています。</li> </ul>	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員に周知されており、留意しています。</li> </ul>	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配慮して取り組んでいます。</li> </ul>	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	28.6%	71.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉避難所として指定を受けたり、町内行事にも積極的に参加しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状、地域住民を招待するのは実施が難しいですが、りとるらいふとして、どのような形で実施できるか検討中です。</li> </ul>
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルの策定は実施しています。ご家族には、訓練実施日にご報告させていただきます。</li> <li>・避難訓練を毎月実施しています。</li> </ul>	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症、防災のBCPを策定しており訓練を実施しています。</li> </ul>	

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0.0%	・利用前面談時や契約時に確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0.0%	・必要に応じて指示書をいただき、栄養士、看護師に情報共有しています。 ・アレルギーがある場合、対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0.0%	・AED講習を実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0.0%	・さくら連絡網にて周知しました。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0.0%	・速やかに情報共有し、対策を講じています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0.0%	・研修はもちろん、小委員会の実施、セルフチェックを定期的に実施しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0.0%	・委員会を設置して、定期的に話し合いを行なっています。個別支援計画書にも記載しております。 ・対象の方がいらっしゃる場合は、組織内での話し合い、保護者へ必ず説明を行い対応しています。	

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ららん		
○保護者評価実施期間	令和 7年 10月 27日		～ 令和 7年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	令和 7年 10月 27日		～ 令和 7年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の情報共有と支援の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員同士、普段から積極的にコミュニケーションを取る姿も多くあり、相談事など自然とできています。</li> <li>支援についても一部の職員だけの意見ではなく、どの世代の意見も取り入れられるよう、昼礼やMTGで共有しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、日常的な振り返り・情報共有・日々の小さな支援検討を重ね、密なコミュニケーションを図り、チームワークを強化します。</li> </ul>
2	事業所の透明化	<ul style="list-style-type: none"> <li>当事業所では、活動スペースを窓越しに確認できる開かれた療育環境を大切にしています。いつでも外部から活動の様子をご覧いただける状態にすることで、運営の透明性を確保し、保護者様や地域の方々へ安心感を提供できるよう努めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単に活動を見せるだけではなく、その支援の意図や背景にある療育的ねらいを積極的に言語化・発信することで、ご家族や地域社会との信頼関係をより強固なものにしてまいります。</li> </ul>
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	相談体制の周知不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談窓口の設置や苦情解決の仕組みはマニュアル化されているものの、重要事項説明書での説明にとどまっており、日々の活動の中で保護者様や子どもたちに対して繰り返し・多角的に周知する機会が不足していました。そのため「どこに、誰に相談すればよいか」が直感的に伝わりにくい状態になっていたことが要因と考えられます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいたご意見は、私たちの支援をよりよくするための大切なヒントだと考えています。どんな些細なことでも真摯に耳を傾け、『話してよかった』と感じていただけるような迅速で誠実な対応を目指します。</li> <li>窓口を広めるだけではなく、心の距離も近く感じていただけるような運営を目指します。</li> </ul>
2	環境設定に対する意図の説明不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>『仕切りのねらい』を保護者様へ十分に説明できておらず、単に空間を狭めているというネガティブな印象を先行させたことが要因と考えます。</li> <li>物理的な広さだけではなく、その空間構成が子どもの特性にどう寄与しているのかという納得感を提供できなかった点に課題があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕切りを使用する際は、単なる区切りとしてではなく、『集中力の維持』や『視覚情報の整理(構造化)』といった支援の意図があることを、日々の引継ぎを通じて丁寧にお伝えしていきます。</li> <li>『狭さ』ではなく、『お子さまにとって過ごしやすい適切なサイズ感』であることを共有し、環境設定への理解を深めていただきます。</li> </ul>
3			